

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）について



企画観光部 国際観光課

VJCとは

VJCとは、海外の重点市場12地域（韓国・米国・中国・香港・台湾・ドイツ・フランス・イギリス・オーストラリア・カナダ・タイ・シンガポール）を対象にして、地方公共団体や民間企業など外客誘致に熱心に取り組む主体の外客誘致事業と国等の外客誘致事業が連携（タイアップ）することにより、より高い誘客効果を期待して実施する事業です。

したがって、本来、地方公共団体等が計画している事業に国がタイアップしてより効果が生まれるよう連携して事業を実施する性格のものであるため、仮に国との連携ができなくとも地方公共団体等は単独でも事業を実施するということが前提となります。

VJC地方連携事業に使用する予算は、会計法上では補助金の類ではなく、「外国人旅行者訪日促進対策庁費」という費用科目です。国にとって何らかの反対給付（ここでは、訪日客数の増加・九州の認知度向上など）が認められる事業であることを前提とし、総事業費の50%を上限として国費を拠出します。



VJC事業の個別事業については、別添（VJC事業分類）のとおりです。

なお、募集時期等詳細な内容については、国際観光課までお問い合わせ下さい。

（092-472-2335）

キャンペーンの概要

国土交通省では、「観光立国」の実現に向け、外国人旅行者を2010年に1000万人受け入れるとの目標を達成すべく、平成15年度から「ビジット・ジャパン・キャンペーン（以下、VJC）」を展開しています。

VJCを積極的に推進することにより、それまで諸外国と比較して不十分かつ見劣りがしていた外客誘致活動が質・量の両面で飛躍的に強化された結果、訪日外国人旅行者は平成14年の524万人から、平成18年には733万人と飛躍的に増加しています。

九州の戦略

平成19年度においても、九州への外国人旅行者の誘客を図るため、九州観光推進機構、地方自治体等と連携して様々な事業を実施しています。

九州における外客誘致戦略としては、東アジアを主なターゲットとして一般大衆に広く「九州」ブランドに関する情報発信や観光PR活動を展開する「『九州』の認知度向上を図る事業」と、青少年交流、インセンティブ・ツアー（ ）、健康とスポーツ、歴史と文化など個別テーマごとに誘客展開を働きかける「着実な実績の積み上げを図る事業」を戦

略の柱として位置づけていますが、さらに、本年が「日中文化スポーツ交流年」、「日タイ修好120周年」、「朝鮮通信使訪日400周年」にあたることから、それら記念行事を活用した誘客事業についても積極的に展開し、それぞれの事業を有機的に連携させながら、九州へのより一層の誘客拡大を進めていくこととしています。

() (従業員や顧客に対する)報奨旅行

平成18年度における主な事業内容

中国、韓国での現地イベント参加による認知度向上事業

新たな観光需要が見込まれるエリアの大型イベントに参加し、多くの人々に、九州観光の様々な魅力を直接アピールするため、中国においては、杭州市で開催された「2006年杭州世界レジャー博覧会」、上海市で開催された上海観光フェスティバル「上海旅遊節」に参加し、また、韓国においては、釜山市で初めて開催された「大韓民国お祭り博覧会」に日本からは唯一の、九州ブースを出展しました。

日中友好都市交流シンポジウムの開催

平成18年が「日中観光交流年」であったことにかんがみ、友好都市交流に意欲的な日中各3都市(唐津市=揚州市、佐伯市=邯鄲市、菊池市=泗水県)の首長、政府幹部を招聘し、熊本県・菊池市において「日中友好都市交流シンポジウム」を開催しました。

「人物、物的、文化的な互恵関係の構築」をテーマとした基調講演やパネルディスカッション等を通して友好を深め合い、都市間交流をさらに活性化させ双方向の外客誘致に結びつけることが確認されました。

「ウェルカム九州フェア」の開催

「ウェルカム九州フェア」は、東アジアから九州へのインバウンド戦略を効果的に推進するため、現地での観光説明会、商品造成に意欲がある旅行会社の九州ファミトリップ(招聘)、ファミトリップに併せた九州での商談会及びセミナー(意見交換会)、タイアップ広告を総合的に実施する事業です。

平成18年度は、中国市場、台湾市場を対象としたフェアを、それぞれ福岡市において開催し、対象国の旅行社に対して着実かつ早期のツアー造成を働きかけました。

農業観光、産業観光の誘致促進

環境施設そのものを観光資源と位置づけ、各種リサイクル・省エネ施設、廃棄物再利用施設の見学や環境に対する行政、企業の取り組みを紹介する「産業観光」、また、風光明媚な自然景観のなかでの農業体験と観光を有機的に組み合わせ「グリーン・ツーリズム」など、従来とは視点の異なるツアーの造成に向けて、新しい切り口からの九州への誘客事業を展開しています。

海外からの教育旅行誘致促進に関する事業

海外からの訪日教育旅行誘致に向けた事業は、VJC開始当初(平成15年度)から積

極的に展開しています。

平成18年度においても、中国をはじめ韓国、シンガポールなど海外からキーマンとなる教育関係者を精力的に招聘しており、それらの取り組みの成果として九州への修学旅行は年々増加しています。

また、将来にわたりリピーターとなりうる若年層の来訪を促進することを目的として平成18年3月に設立した「九州地域訪日教育旅行促進協議会」を活用し、青少年交流促進のための支援活動を実施します。

インセンティブ・ツアーの誘致促進

中国では、経済成長に伴って、多くの企業が国内外にインセンティブ・ツアーを送り出している状況にあることから、研修訪問団、産業視察団、交流団等の派遣を積極的に行なっている中国企業家協会関係者を九州に招聘し、インセンティブ・ツアー候補として九州をアピールしています。

また、韓国企業が販売員に対し、東南アジアのリゾート地域へのインセンティブ・ツアーを多く実施していることから、それを、旅行需要が高くない夏場の南九州へ誘致するための「サマ・インセンティブ・プログラム」を推進しています。

台湾での「佐賀のがばいばあちゃん」プロモーション事業

台湾では、昭和30年代の佐賀市を舞台にした小説「佐賀のがばいばあちゃん」がベストセラーになりました。同小説を原作とした映画の台湾全土での上映に先だって行われた、映画会社主催の主演俳優を招いた記者発表に合わせて、バルーン係留飛行デモンストラーションや九州観光スポットのセールス活動を展開し、豊富な観光資源を有する九州観光の魅力を印象づけるとともに、認知度の向上・イメージアップを図ったものです。

「孫文」をテーマとしたテレビ番組の制作・放映事業

九州とゆかりが深く、中国人民の「国父」として多くの中国人に尊敬される孫文と、長崎出身の梅屋庄吉、荒尾出身の宮崎兄弟など、孫文の活動を支えた九州出身者との交流をテーマとしたドキュメンタリー番組「日本九州～孫中山先生の足跡を訪ねて」を企画、制作し、孫文生誕140周年となる平成18年の11月に放映しました。

孫文と九州の関わりを強くアピールしたドキュメンタリー番組は、中国最大のテレビ局である中国中央テレビ(CCTV)により中国全土に向けて放映され、九州の知名度・認知度の向上に大きく貢献したものです。

中国太極拳ツアーの誘致事業

太極拳は中国における最もポピュラーな武術であり、昨今の健康志向によって中高年層を中心にその愛好家は増え続けており、その数は1億人ともいわれています。

平成17年度から実施されている太極拳愛好家の訪日ツアーに加え、平成18年度にはウォーキングツアーも実施されるなど、健康志向の中高年層は、VJC事業にとって極めて重要なターゲットであることから、その訪日促進に向けてキーパーソンの招聘事業を実施しているものです。